

防災ワークショップ2022 中部 南海トラフ地震臨時情報発表、その時あなたは…

開催報告

令和4年2月25日、『南海トラフ地震対策中部圏戦略会議』10年を振り返る取組の一環として「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合に産官学民のそれぞれが取るべき行動や事前準備について理解を深めるため、「防災ワークショップ2022 中部～南海トラフ地震臨時情報発表、その時あなたは…～」を開催しました。

日時 令和4年2月25日（金）10:00～13:00

方法 YouTubeによるライブ配信
(会場：ドルフィンズアリーナ 第一競技場)

主催 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議
あいち・なごや強靱化共創センター

内容 ○主催者挨拶
○『南海トラフ地震対策中部圏戦略会議』の紹介
○ワークショップ《進行：名古屋大学福和教授》

学習パート

- 福和教授による南海トラフ地震の講話
- プロジェクションマッピングで見る南海トラフ地震
- 内閣府・気象庁による「臨時情報」の説明

実演パート

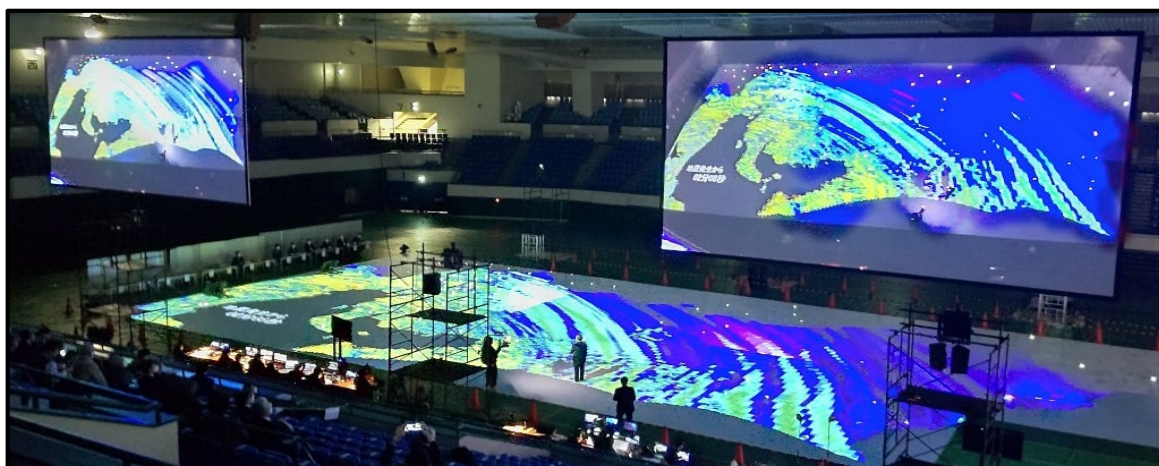
- 臨時情報発表の実演

【西側半割れ地震の発生から臨時情報（巨大地震警戒）発表まで】

討論パート

- 福和教授と参加機関によるディスカッション
- 総括コメント《名古屋都市センター奥野センター長》

防災ワークショップ2022 中部
南海トラフ地震臨時情報発表、その時あなたは…
南海トラフ地震 想定震源域
2月25日 金 10:00~12:45
公開LIVE
YouTubeによるライブ配信を行います。
<https://www.youtube.com/watch?v=s1Y0BeQ0PO>
主催：南海トラフ地震対策中部圏戦略会議 あいち・なごや強靱化共創センター
問い合わせ先：南海トラフ地震対策中部圏戦略会議事務局（愛上大連発 中部地方防災局 防災課） TEL.052-953-8357



主催者挨拶



南海トラフ地震対策中部圏戦略会議 事務局代表
国土交通省 中部地方整備局長 堀田 治

『南海トラフ地震対策中部圏戦略会議』の紹介

南海トラフ地震対策中部圏戦略会議 事務局
国土交通省 中部地方整備局 防災室長 細野 貴司

学習パート

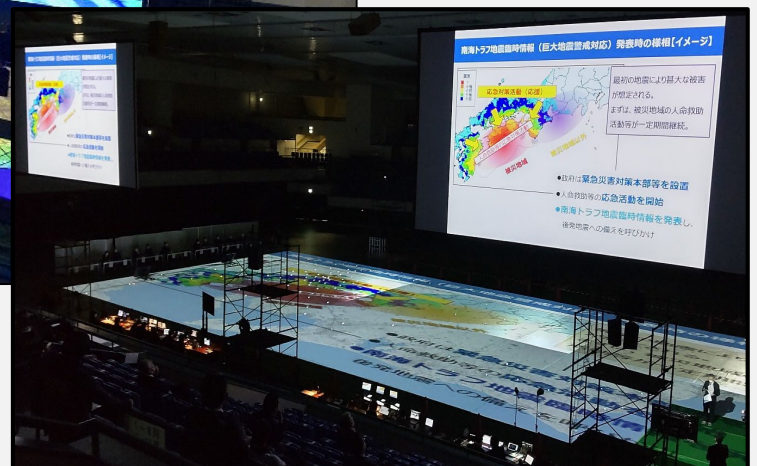
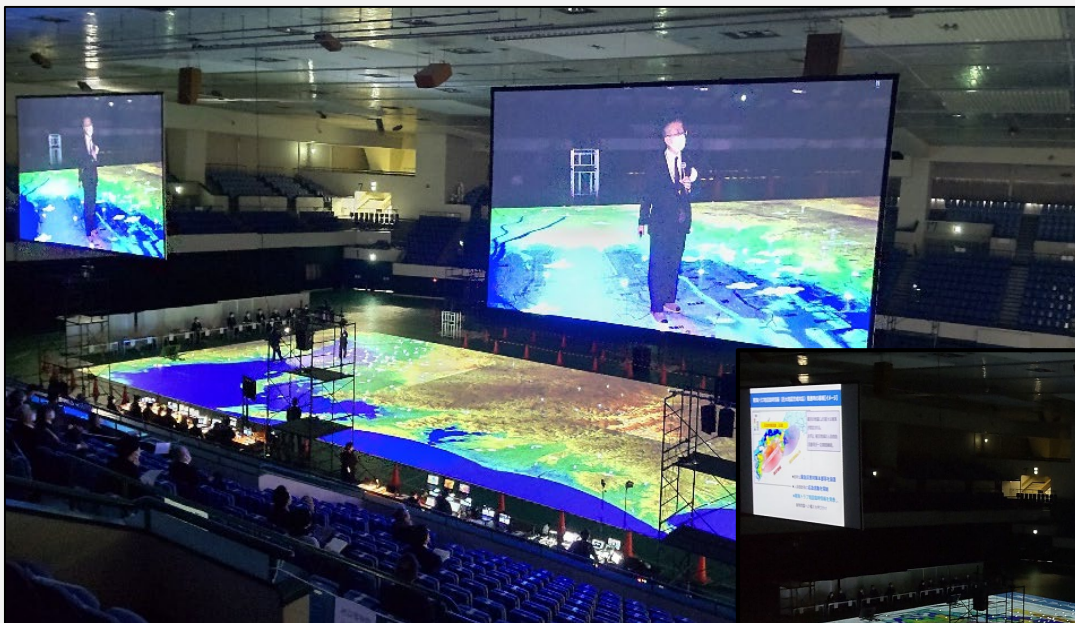


名古屋大学教授 福和 伸夫 氏

【南海トラフ地震の講話・
プロジェクションマッピングで見る南海トラフ地震】

- 過去の南海トラフでの地震
- 南海トラフ地震の被害想定と地震発生パターンの一例
- プロジェクションマッピング

地震動の伝播状況、震度分布と液状化の状況、津波の伝播状況、標高分布図と人口分布、重要施設（市役所、発電所、工業団地、災害拠点病院、緊急輸送道路）の位置



学習パート

【「南海トラフ地震臨時情報」の説明】

気象庁 名古屋地方気象台 地震津波火山防災情報管理官 上田 義浩 氏

- 南海トラフ地震に関連する情報の種類
- 南海トラフ地震の可能性判定の流れ
- 臨時情報発表の基本的な流れ

【「南海トラフ地震臨時情報」発表に伴う防災対応の概要】

内閣府 政策統括官（防災担当）付企画官（調査・企画担当） 高畑 栄治 氏

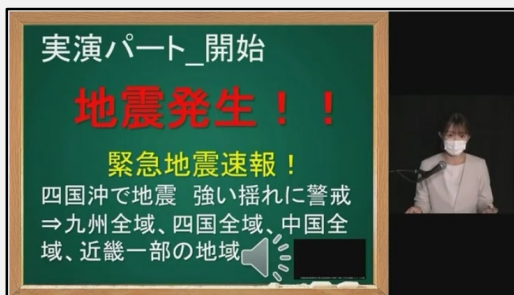
- 臨時情報が発表された際の防災対応（概要）
- 臨時情報発表（巨大地震警戒）事前避難のイメージ
- 日頃からの地震への備えの再確認（対象地域の住民、企業等）

実演パート

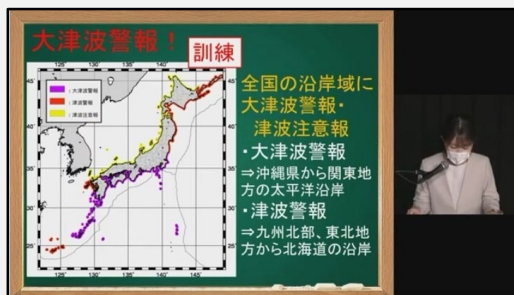
【臨時情報発表の実演】

南海トラフ西側で大規模地震が発生した場合（半割れケース）の防災対応（緊急地震速報の発表、大津波警報等の発表、避難指示、南海トラフ地震臨時情報の発表、気象庁会見、政府会見など）について、その流れを福和教授の解説も交えながら実演しました。

また、大津波警報が発表された際に名古屋の民放4社がヘリコプターからの映像を共有する「名古屋モデル」の取り組みも紹介しました。



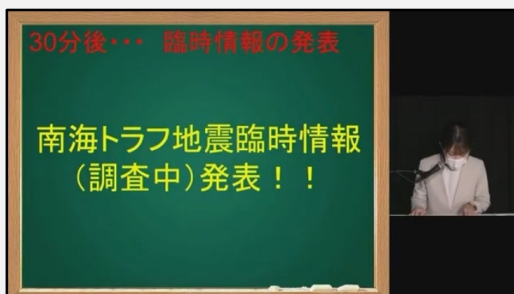
アナウンサーによる速報ニュース



大津波警報の発表



福和教授による解説



臨時情報（調査中）の発表



気象庁会見の実演



模擬政府会見

討論パート

【福和教授と参加機関によるディスカッション】

参加機関が各々の役割・立場に応じて、臨時情報発表時における「各機関の対応や課題」、「事前避難についての地方公共団体の取り組み状況や課題」、「企業の事業継続についての課題」、「報道機関が求める情報や伝えるべき内容についての課題」などについて討論を実施しました。

○ 参加機関からの声

- ・ 様々な組織の取り組み状況を確認できたことは、とても有意義
- ・ 多様な主体が一堂に会して課題に取り組むことの重要性を再認識
- ・ 本日議論した事柄が、前向きな課題解決に繋がることに期待

《 参加機関 》 ※Webによる参加

内閣府※、気象庁※、名古屋地方気象台、中部経済産業局※、中部運輸局、中部地方環境事務所、中部地方整備局、静岡県※、愛知県、三重県※、名古屋市、豊橋市、田原市、(一社)中部経済連合会、中日本高速道路(株)名古屋支社、(一社)愛知県建設業協会、中部ブロックDMAT連絡協議会、名古屋テレビ放送(株)



総括コメント



南海トラフ地震対策中部圏戦略会議 座長 名古屋都市センター長 奥野 信宏 氏

- ・ 人が集まる場所には、色々な方が興味を引かれるものです。多くの方がYouTubeを通して参加し、良い体験をしてもらったのではないのでしょうか。
- ・ 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の立ち上げから10年間取り組みを推進していますが、新しい課題が出てきていると感じます。今後もひとつずつ検討して解決していかなければならないと改めて認識しています。

YouTubeによる配信について

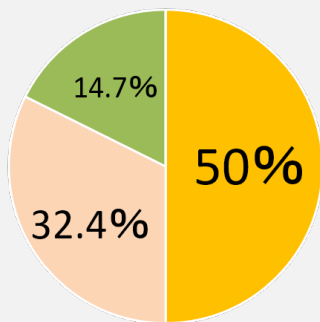
本ワークショップは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客で開催し、一般参加者の皆さまにはYouTubeによるライブ配信でご視聴いただきました。
(令和4年3月31日までアーカイブ配信)

○ YouTube視聴回数 2, 859回 (R4.3.23 13:00時点)

○ 視聴者からの声

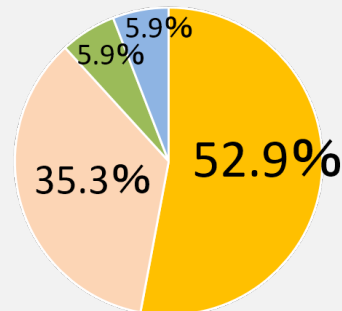
- ・臨時情報のロールプレイングは非常にわかりやすく参考になった。
- ・全体を通して、臨時情報発表後の対応にはどの立場にとっても難しい問題が沢山あることがわかって、勉強になりました。
- ・南海トラフ地震に関する情報の流れ、行政対応、時間軸に基づいてその限界も含めて理解することができた。
- ・まずは家族を含め、一人でも多く方に取得した情報を展開し、周知させることが必要と考えた。
- ・今後、自宅での防災対策作り、そして職場での防災対策に活かしていきたい。
- ・もっと住民の視点でわかりやすく伝えて欲しかった。
- ・拡大地図でのシミュレーションをもっと細かい地域で確認できると良かったと思いました。自分の地域がどうなっているのか詳しく知りたいと思いました。

「南海トラフ地震臨時情報」が発表された時の社会状況について



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4
よく理解できた あまり理解できなかった

「南海トラフ地震臨時情報」が出た時の行動や事前の備え



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4
考えられるようになった あまり考えられない

※視聴者アンケートより一部抜粋

お問い合わせ先
南海トラフ地震対策中部圏戦略会議 事務局
国土交通省 中部地方整備局 防災室 運用企画係
電話 052-953-8357